

第3回

平成19年4月10日講演

Jリーグ入り 協力を

おかやま適塾

ファジアーノ岡山社長 木村氏が講演

岡山の今と未来を語り合う「第三回おかやま適塾」が十日、岡山市柳町の山陽新聞社さん太ホールであり、Jリーグを目指すファジアーノ岡山スポーツクラブの木村正明社長が「子どもたち

に夢を」と題して講演した。約百人を前に、木村氏は岡山県の少年サッカー人口が十五年前の二倍に増えたことに触れ「プロチームができれば観戦機会が増え、ジュニアの技術向上は進む」と説明。ファジアーノが昨年三十カ所、延べ千五百人を対象に行った「出前サッカー教室」を今年は四十五カ所、二千人に拡大し掛けた。(飯田陽久)



Jリーグへの夢を語る木村正明社長

ユニア指導に努めると力を込めた。さらにホームアンドアウェイで試合が組まれるサッカーは「地域情報の発信ができる」と強調。人口二百万人以上の県にはほぼJリーグチームが存在することを示し「特定の企業頼りではなく、県民が少しずつ資金を出し合えばJリーグチームができる」と協力を呼び掛けた。